



### 大阪で最も美しい sunsetが観賞できる

めざましい発展と変貌を遂げている大阪ベイエリアは、新しい観光地やアートのスポットとして注目を集めています。その中の一つ、海遊館でお馴染みの天保山ハーバービレッジには、'91年秋オープンしたサントリーミュージアムを訪ねてみました。

幾何学的な逆円錐のフォルムとシルバーカラーのモダンな建物は、国際的な建築家で大阪出身の安藤忠雄氏による設計で、地上9階建て、総事業費約90億円をかけて、サントリー創業90周年の記念事業の一つとして建設されました。ギャラリー、IMAXシアター、レストラン、スカイラウンジ、ショップの5つの施設で構成されています。

### 時代と生活の中に息づくアート&デザインの殿堂

「ギャラリー」は、19世紀半ばのオール・ヌーヴォー、オール・デコから現代にいたる、ロートレック、ミュシャ、カッサンドルなど世界各国の秀作ポスター8000点以上を所蔵しています。いわゆる堅苦しい美術館とは異なり「おかりやすく、楽しい」をモットーに、時代や生活の中に息づくアートシーンを敏感にとらえた企画展示で、街角や日常の暮らしにデザインとアートを身近に感じさせてくれます。エミール・ガレのガラス工芸品の所蔵もあり、これからも興味ある企画が期待できそうです。

## ギャラリー・IMAXシアター・レストランなどの複合文化施設 サントリーミュージアム 天保山



ギャラリー



### あなたも超大型スクリーンでバーチャルリアリティを体験してみませんか

巨大なドーム型空間の「IMAXシアター」では、幅28m・高さ20mの超大型スクリーンで、画面が飛び出す立体映像が楽しめます。上映中の3D映画「ブルーオアシス」では、カリフォルニア沖の海底に広がる高さ30mの巨大ケルプ(海藻)の森を舞台に、アシカや鯨、ヒトデが目の前で泳いで、手を伸ばせば触れられるような迫力と感動が味わえます。

私は、ハワイのオアフ島でシュノーケルを付けて潜ったことがあるのですが、まさにそのときと同じキューバーダイビングをしているようでした。45分間のバーチャルリアリティ(仮想体験)による海中旅行でしたが、楽しく逞しい生命のドラマを見て、地球の素晴らしさ、自然の大切さをしみじみ感じました。



レポーター●西山ゆかり

### グラスを手に、港を行き交う外国船に思いを馳せる

アートと映像で感動した後は、ゆったりと海を眺めながら、お食事を。レストラン「サンテンボ」では、港を行き交う外国船や観光船・サンタマリア号を眺めながら南欧風料理が味わえます。

果実を付け込んだ特製赤玉フルーツパンチのデカンタ(2~3人分・1200円)をアペリティフに、モツァレラチーズがたっぷり入った人気のオムレツ型ピッツァ・カルツォーネ(1300円)を試してみました。シーフードのスパゲッティもお勧めです。ベルベットのクリーミーな泡立ちカールスバーグ樽生をはじめ、サントリーの各種ビールが味わえるのもうれしいです。

さらに大人の雰囲気を味わいたい人は、地上40mにある「スカイラウンジ」へどうぞ。グラスを片手に、六甲から神戸、晴れた日には淡路島や明石海峡大橋が一望できます。この建物自体、海のロケーションをさまざまな角度から楽しめるよう設計されているんです。例えば、ギャラリーでは、海側が前面開口になっているためソファに腰を下ろして心ゆくまで海が眺められ、特に冬は夕日が正面に沈むため、設計者の安藤忠雄さんによると「大阪で一番美しい入り日」が観賞できるそうです。ルーフトラスからは、外壁のガラスに反射した海が幻想的。いつか、ぜひ二人で最高のsunsetを見にきたい…。目下パートナー募集中です。

帰り際に、「ミュージアムショップ」に寄ってみました。コレクションから複製したりトグラフやポストカード、デザインにこだわったCDラックやペーパーウェイト等、あなたの部屋をアートで飾れる品々が揃っていて、見るだけでも楽しめます。



IMAXシアター



ミュージアムショップ